

| | | | | | | |
|---|--|--|-----|-------|---------|---------------|
| 科目名 | 世界史A | 単位数 | 2単位 | 学科・学年 | 全学科の2年生 | |
| 使用教科書 | 明解 新世界史A (帝国書院) | | | 副教材等 | | |
| 学習目標 | <p>○ みなさんは、本校で1年次に「地理A」か「日本史A」(選択)、2年次で「世界史A」を学びます。そして3年次には、総仕上げとして「現代社会」を学習します。</p> <p>○ 「世界史A」では、世界の様々な地域の歴史と文化を学ぶ中で、国際社会に生きる市民として一人ひとりの生徒が異文化や他者を理解し、尊重する考え方を養いましょう。</p> | | | | | |
| 学習評価 | ○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり(定期考査ごとを学習のひとまとめり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 | | | | | |
| | ①関心・意欲・態度 | 授業に積極的に取り組み、発表などが積極的にできるかどうかをみます。 | | | | |
| | ②思考・判断 (数学的な見方や考え方) | 見方や考え方を身に付け、社会を論理的・合理的にとらえるとともに、自分自身の問題として考えることができるかどうかをみます。 | | | | |
| | ③技能・表現 (表現・処理) | 資料や数値をもとに、その分析を行うとともに、そこから導きだされる結論に対して自分自身の意見を述べるができるかどうかをみます。 | | | | |
| | ④知識・理解 | 社会科学的なものの見方・考え方、また、その基礎となる知識についてみます。 | | | | |
| |  | 評価方法\観点 | ① | ② | ③ | ④ |
| | 学習状況観察 | ◎ | — | — | — | 学習態度や状況を観察します |
| | 課題提出 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 必要に応じて準備します |
| | ノート提出 | ◎ | — | — | ○ | 学期に1回提出 |
| | ペーパーテスト | — | ◎ | ◎ | ◎ | 小テスト・定期テスト |
| <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <p>○ 学習の過程で自己評価を実施します。自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。 *チェック項目の例…授業に対する理解、授業態度、提出物の提出期限厳守。</p> | | | | | | |
| 履修上の注意 | <p>(1)世界史は地域ごとに独立して学習するだけではなく、互いに関連を持ちながら同時に影響しあっていることに、十分留意して学習を進める。また、確認プリントなどを十分に活用し、自ら学習することができる力をつけましょう。</p> <p>(2)日ごろから、新聞、雑誌、インターネットなどを通して、現在の様々な情報や資料に対してアンテナを張り巡らし、社会情勢にも関心を持ちましょう。</p> | | | | | |

| 学期 | 月 | 学 習 内 容 | 時数 | 学 習 の ね ら い | 学 習 活 動 (評 価 方 法) | |
|--------------|---------------|--------------------|----|---|---|--|
| 1 学 期 | 4 | 1部 世界の一体化と日本 | 37 | ○世界の諸地域を形成していった過程について学習し、内陸・海域のネットワークを背に新たな世界が再編されたことを学びます。 ○市民革命を経て工業化を達成したヨーロッパのアジア・ | 【学習状況観察】 【プリント教材】 【中間テスト】 | |
| | | 1章 前近代の諸文明 | | | | |
| | | 序節 人類の始まり | 1 | | | |
| | | 1節 東アジアの文明 | 4 | | | |
| | 5 | 2節 南アジアの文明 | 1 | | | |
| | | 3節 東南アジアの文明 | 1 | | | |
| | | 4節 西アジア・北アフリカの文明 | 3 | | | |
| | 6 ・ 7 | 5節 ヨーロッパの文明 | 3 | | アフリカ進出により、世界の構造変化と社会の変容が促されたことを学びます。 ○16世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域の特質とヨーロッパ世界の拡大と世界の一体化を学びます。 | 【学習状況観察】 【プリント教材】 【自己評価】 【ノート提出】 【期末テスト】 |
| | | 6節 南北アメリカの文明 | 1 | | | |
| | | 7節 ユーラシアの交流圏 | 1 | | | |
| 2章 一体化に向かう世界 | | | | | | |
| 2 学 期 | 9 ・ 10 | 1節 繁栄するアジア | 4 | ○20世紀の世界が地球規模で一体化し相互存在を強めたことと、国際対立や国際協調について学びます。 | 【学習状況観察】 【プリント教材】 【中間テスト】 | |
| | | 2節 大航海時代と新たな国家の形成 | 4 | | | |
| | | 3章 欧米の工業化とアジア諸国の動揺 | | | | |
| | | 1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命 | 5 | | | |
| | 11 ・ 12 | 2節 自由主義・ナショナリズムの進歩 | 3 | | ○16世紀から18世紀にかけてのアジア諸地域の特質とヨーロッパ世界の拡大と世界の一体化を学びます。 | 【学習状況観察】 【プリント教材】 【自己評価】 【ノート提出】 【期末テスト】 |
| | | 3節 アジア諸国の動揺 | 3 | | | |
| | | 4節 東アジアの大変動 | 3 | | | |
| | | 2部 地球社会と日本 | 23 | | | |
| | | 1章 現代社会の芽生えと世界大戦 | | | | |
| | | 1節 現在につながる社会の形成 | 2 | | | |
| 3 学 期 | 1 | 2節 第一次世界大戦がもたらしたもの | 4 | ○科学技術の発達と現代文明のもつ諸問題を地球規模で考え、これからの世界と日本の未来を考察します。 ○1年間の学習を振り返ります。 | 【学習状況観察】 【プリント教材】 【自己評価】 【ノート提出】 【学年末テスト】 | |
| | | 3節 “民族自決”を求めて | 2 | | | |
| | | 4節 経済危機から第二次世界大戦へ | 5 | | | |
| | 2 | 2章 冷戦から地球社会へ | | | | |
| | | 1節 冷たい戦争の時代 | 4 | | | |
| | | 2節 冷戦終結への道のり | 2 | | | |
| | | 3節 地球社会への歩み | 2 | | | |
| | | 4節 持続可能な社会をめざして | 2 | | | |